

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2015-122576 (P2015-122576A)

【公開日】平成 27 年 7 月 2 日 (2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-042

【出願番号】特願 2013-264371 (P2013-264371)

【国際特許分類】

H 0 4 N 9/07 (2006.01)

H 0 4 N 7/01 (2006.01)

H 0 4 N 1/48 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 9/07 A

H 0 4 N 7/01 Z

H 0 4 N 1/46 A

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 0】

図 2 0 ~ 図 2 2 は、注目画素が第 1 色成分画素であり、相関方向が第 2 斜め方向である場合における画素補間処理について説明するための図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 2】

D 1 o u t

補間部 3 は、注目画素の画素値 P 2 2 を、第 1 色成分の画素値 D 1 o u t とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 2 5】

$$s_0 = (P_{02} + P_{20}) / 2$$

$$s = P_{22}$$

$$s_1 = (P_{24} + P_{42}) / 2$$

また、補間部 3 は、図 2 2 に示すように、P 1 1 と P 2 2 との midpoint の第 2 色成分 q 0 と、P 2 2 と P 3 3 との midpoint の第 2 色成分 q 1 とを、以下の数式に相当する処理（内分処理）により算出する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 1 0  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

中心画素：第1色成分画素 相関方向：水平

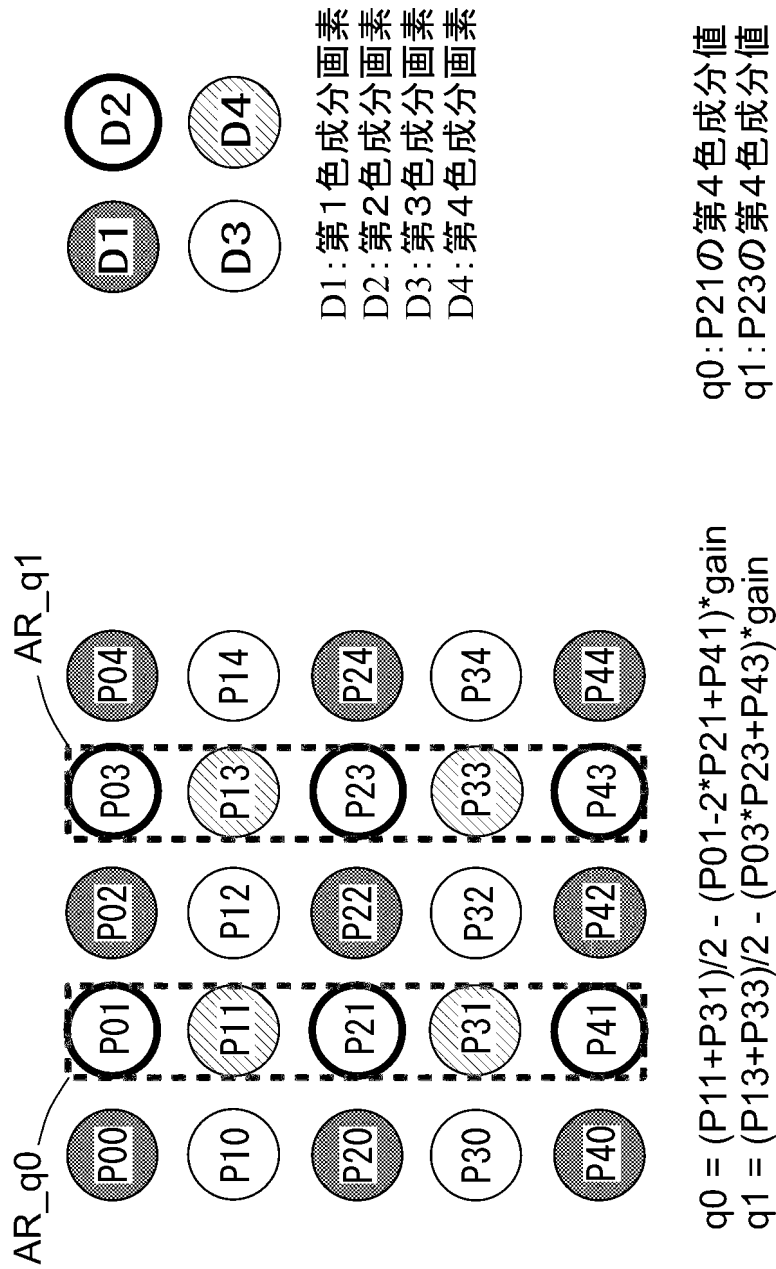


FIG. 10